

# 平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,932,800円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

## ●利用状況

		H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,929	16,923	14,865	15,109	14,400
	移動児童館利用者数	1,227	945	1,183	1,392	1,675
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	24	23	26	26	32
	開館日数(単位:日)	151	157	151	156	151

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(正規職員、児童厚生員)、正規職員2人(児童厚生員1人、体育指導員1人)、非常勤職員2人、派遣職員3人。 ③毎月のお便りは、小学校、幼稚園、公民館、地域の公園、健康センターなどに配布し、ホームページにも掲載。職員ブログでクラブや行事の様子を写真つきで掲載。地域の情報紙「ふれあいタイムス」に毎月のお勧め行事を掲載。 ④アンケートの要望に対する回答を館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、④適切に実施。 ③古紙、ペットボトルや牛乳パックなどを事業に活用し、リユースに努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②センター内の清掃や修理に関しても職員で対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③適切に実施。毎月の安全点検を継続。情報共有することで、危機管理意識を高めている。 ②不審者対応、事故対応マニュアルを作成している。また、利用者も含め、地震・火災それぞれの場合によつての避難対策、避難訓練を実施した。各部屋に職員を配置し、しっかりと避難の仕方を理解できるように促し訓練を行った。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>平成29年1月27日から平成29年3月17日に利用者アンケート(無記名)を実施。          ○保護者用アンケート 回答者数121人          ○児童用アンケート 回答者数61人          ・学年 小1 13人、小2 13人、小3 11人、小4 10人、小5 6人、小6 8人、中学生以上 0人          ・性別 男子 23人、女子 38人</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○保護者用アンケート          ・児童センターのホームページ・ブログを見たことがありますか？          ある92人、ない12人、あることは知っているが見たことがない2人、未記入15人          ・ROBOちゃんクラブ(2、3歳児対象)、ポロちゃんクラブ(1歳)について          満足53人、ほぼ満足14人、やや不満0人、不満0人、参加したことない36人、未記入18人          ・ぴよちゃんタイム(0歳)について          満足35人、ほぼ満足18人、やや不満0人、不満0人、参加したことない50人、未記入18人          ・ロボッ子タイム(北部コミュニティーセンターで開催)について          満足18人、ほぼ満足5人、やや不満0人、不満0人、参加したことない76人、未記入22人          ・スキンシップタイム(0歳)について          満足14人、ほぼ満足8人、やや不満2人、不満0人、参加したことない70人、未記入27人          ・ママのリフレッシュ講座(保護者対象)について          満足9人、ほぼ満足4人、やや不満0人、不満0人、参加したことない84人、未記入24人          ・なごみタイム(保護者対象)について          満足7人、ほぼ満足6人、やや不満0人、不満0人、参加したことない83人、未記入25人</p> <p>○児童用アンケート          ・好きな遊び(3つまで)          ボール遊び 39人、漫画・本 31人、ぬりえ・お絵かき28人、カード遊び 19人、体を動かす遊び(鬼ごっこなど) 13人、人生ゲーム 10人、一輪車 10人 他          ・やってみたい行事(3つまで)          おばけやしき 37人、ドッジボール大会 29人、パーティー(ハロウィン・クリスマスなど) 25人、おやつ作り 25人、段ボール迷路 18人、なぞとき 12人 他</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・スキンシップタイムについて 参加費500円がかかる          ⇒ 講師の先生に来ていただいている活動なので、アンケートでいただいた意見を伝え、考慮した内容で提供していただけるよう努めていきたい。</p> <p>・ママのリフレッシュ講座について 託児があり、安心して取り組めた、今後も参加したい          ⇒ 託児については、職員で行っており、手が足りていないのも現状です。より満足していただける活動になるよう、託児の質の向上にも努めていきたい。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人的能力、人的育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	A	A
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>子育て支援活動について、登録制の幼児クラブについては、前期のアンケートや申込み時に記入していただいている要望を参考に意見の多かった記念になる作品作りなどをプログラムに取り入れ行ったところ、沢山の好評をいただき、継続して活動に参加いただける方が多かった。その為、お母さん同士の輪も深まり、交流の場として活かされていた。</p> <p>移動児童館の【ロボッ子タイム】では、幼児クラブに満員の為登録していただけなかった方にも意欲的に参加いただけ、参加者の口コミなどで好評が広がり、毎回30組前後の親子に参加していただけた。前年度に比べ参加者は2倍にもなり、来館者数にも繋がっている。</p> <p>子どものボランティア育成については、児童クラブでの施設訪問を継続した。利用者の方に喜んでもらえるよう子どもたちが協力して作品を作り贈ったり、活動中には率先して準備片付けの手伝いをしたりできるようになり、利用者の皆さんにも大変喜んでもらった。その結果、別の施設からも訪問依頼があり、活動の幅が広がった。</p> <p>ブログの更新を引き続き頻繁に行うことで閲覧数も伸びており、1歳児対象のポロちゃんクラブ、2歳児～未就園児対象のROBOちゃんクラブは各2クラスずつ30組定員で行っているが即時満員に達した。ブログによる広報活動の成果がみられた。</p> <p>青少年育成会議が主催する親子ふれあい教室で、児童館を利用いただき、地域との繋がりをお母さん方に認識していただくことができた。継続の方に加え、新規の方も入り、来年度は118名の方々が活動を行うことが決まった。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口コミやブログ等の宣伝で児童館の行事に参加して下さる人は増えているが、移動児童館が減少傾向にあるため、地域のサークルなどに積極的に出向き交流を深めていきたい。</li> <li>・ 犯罪に備え、職員が不審者対応できるようマニュアルを作成し、岐阜北警察署に依頼し防犯訓練を実施した。</li> <li>・ 10月と2月には児童センターのお祭り『あきまつり』『あそびランド』を開催し、地域の方や中学校、高校、大学にボランティアを依頼し、クラブの小学生と共にスタッフとして参加していただいた。スタッフ会を行い、スタッフとしての動きの確認やあそびのブースをより楽しんでいただけるよう改善する話し合いの場を設けることでスタッフの意識を高め、小学生もボランティア活動を身近に感じ、異年齢交流を行うことが出来た。</li> <li>・ 母親クラブに登録している自主サークル全6グループの代表の集まりを行った。それぞれのサークルで行っている事や悩みなどを交流、共有することができた。児童センターを拠点として、地域の繋がりができていると再確認した。</li> </ul>
<p>今後の取組み</p>	<p>27年度から始めたセルフネイルタイムは、お母さんの趣向に合わなくなったのか参加人数が激減した為終了し、新たにお父さん向けの『パパっこクラブ』を開催し、違う形で子育て中のお母さんの支援を検討していきたいと考えている。</p> <p>移動児童館では、回数が減少傾向にあるため、小学校や地域サークルへ出向く回数を増やし、活動の支援に努めたい。</p> <p>今期行ったアンケートでは、講師を招いて行っている『スキニップタイム』についてやや不満という意見があった。その理由を精査することができたので、講師に伝え考慮していただき、より満足していただける内容で提供できるように連携していきたい。</p> <p>また、アンケート回数を増やすなどし、利用者の要望に迅速に対応できるよう努めたい。</p>

●所管課の意見

<p>毎月のおたよりを担当小学校、幼稚園、公民館、コミュニティセンター、健康センターへ配布のほか、児童センターのホームページにも掲載していることに加え、職員ブログなどで児童センターの活動の様子をこまめに更新するなど、積極的に広報活動を行った。</p> <p>地域の公園へ職員が遊具を持って出向く「おでかけ児童館」や、コミュニティセンターで活動を行う「ロボッ子タイム」などの移動児童館も積極的に開催し、それを機に児童センターを知る機会となって実際に遊びに来る利用者があるなど、利用促進にもつながっている。</p> <p>長良児童センター特色である子育て中の母親のリフレッシュとなるような事業として、簡単な小物の製作活動をする「なごみタイム」や、体操などを行う「ママのリフレッシュ講座」などを行っているが、その時に流行っているものを採用したり、利用者のニーズを取り入れるなど工夫を行い、子育て支援に努めた。</p> <p>また、児童センターの2大イベント「あきまつり」と「あそびランド」では、中学生、高校生、大学生及び地域ボランティアがスタッフとして活躍を行うほか、地元のみつりに児童センターとして参加し、簡単工作ブースを担当するなど、地域との交流にも力を入れている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>今後の取組みで計画している子育て中の父親が参加する「パパっこクラブ」について、大変興味深く、是非開催して頂きたい。今後も様々な活動により、地域の子育て支援の一翼を担うよう努力していただきたい。管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
---